

—————
雑 報
 —————

「東京天文台改組問題に関する懇談会」報告

庶務理事の主催で上記懇談会を、春季年会（京都）期間中の5月13日（第1回）及び秋季年会（札幌）期間中の10月19日（第2回）に開催しました。それらの内容を報告します。

この懇談会は、2月の天文学研究連絡委員会において開催することの要請があり、研連委委員長より天文学会に申し入れがありました。手違いにより4月の理事会に諮ることができませんでした。そこで、庶務理事の責任で懇談会を開催することにしました。第1回は、5月13日12時15分～13時、京大会館A会場で開かれ、約百名の参加がありました。まず、東京天文台古在会長より、構想素案の内容とそれが出されるに至る経過、準備調査室及び調査委員会の議論の進展、新研究所の組織の構想などについて説明がありました。それに関するいくつかの質疑、新研究所への要望などが出されました。新研究所名についてのアンケートをとること、研究所の体制・組織について全国の研究者のアンケートをとることを計画している旨を池内調査室幹事が述べてしめくりとしました。

第2回は、前回の会場での要請をうけて10月19日17時30分～18時20分、北大学術交流会館A会場で、約百十名の参加で開催されました。古在会長より、前回以後、構想素案によった概算要求書が東大を通じて文部省へ提出されたこと、それに対し文部省は改組初年度は現状移行の方針であるらしいこと、予算・人員・組織などについて文部省と総務庁・法制局との間で接衝が続いていること、大学院教育については2年間は従来通り東大理学部への併任となること、などの報告がありました。また、海部調査室委員より、9月10日締切の「天文学の国立研についてのアンケート」結果の報告がありました。397通の回答があり、全国の研究者の関心が非常に高いこと、特徴的な点としてモノポリーの問題・人事交流の問題・大学院教育の問題について多くの記述解答があったこと、研究所の共同研究への参加の希望が高いこと、などが指摘されました。今後は、結果の相関をとったり、色々な観点で整理して「天文月報」に報告を出すこと、その使用目的と責任の所在がはっきりしている場合、アンケートの生データを貸し出すこともあること、が述べられました。さらに大学と研究所の役割分担、共同利用機関化への意見、大学院生の受け入れなどについての意見交換がありました。

第3回以後どのように継続してゆくかについては、改組の動向を見ながら理事会で検討するのがよいと思われる。（庶務理事 池内 了）

丸善の出版書

宇宙経由/野辺山の旅

森本雅樹 著 四六判/定価1,300円

科学者ならではの知見から、ユーモアとウィットをこめて風刺を交えた自然科学全般にわたるコラム&エッセイの手軽な読物。

ポップアップ宇宙

～ビッグバンからブラックホールまで～

村山定男 監訳 西城恵一 訳 B4変/定価3,800円

宇宙の創生、星の誕生、ブラックホールの話など、オールカラー、見開きの立体模型で時間と空間を超えた宇宙のドラマを再現する。

丸善エンサイクロペディア シリーズ

MARUZEN

宇宙・天文大辞典

小田 稔 監訳 B5/定価15,000円

現代の宇宙・天文学最先端の情報3,000項目を精選収録。各々のポイントを分り易く解説し、体系的な理解が得られるよう構成。

●一頁一頁から新しい発見を!

理科年表 63年版

東京天文台編 ポケット版/定価980円 机上版/定価1,900円

復刻版 理科年表 ～大正十四年発行・初版本～

63年3月刊 予約受付中 A6/定価2,500円

理科年表読本

銀河と宇宙

石田蕙一 著 B6/定価1,300円

地球から宇宙へ ～プラズマの海の孤島～

小口高・河野長 著 B6/定価1,500円

丸善 (出版事業部)

〒103 東京都中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル

営業(03)272-0391 編集(03)272-0393